建屋周辺の地下水位、汚染水発生量の状況

2026年 10月 29日

東京電力ホールディングス株式会社

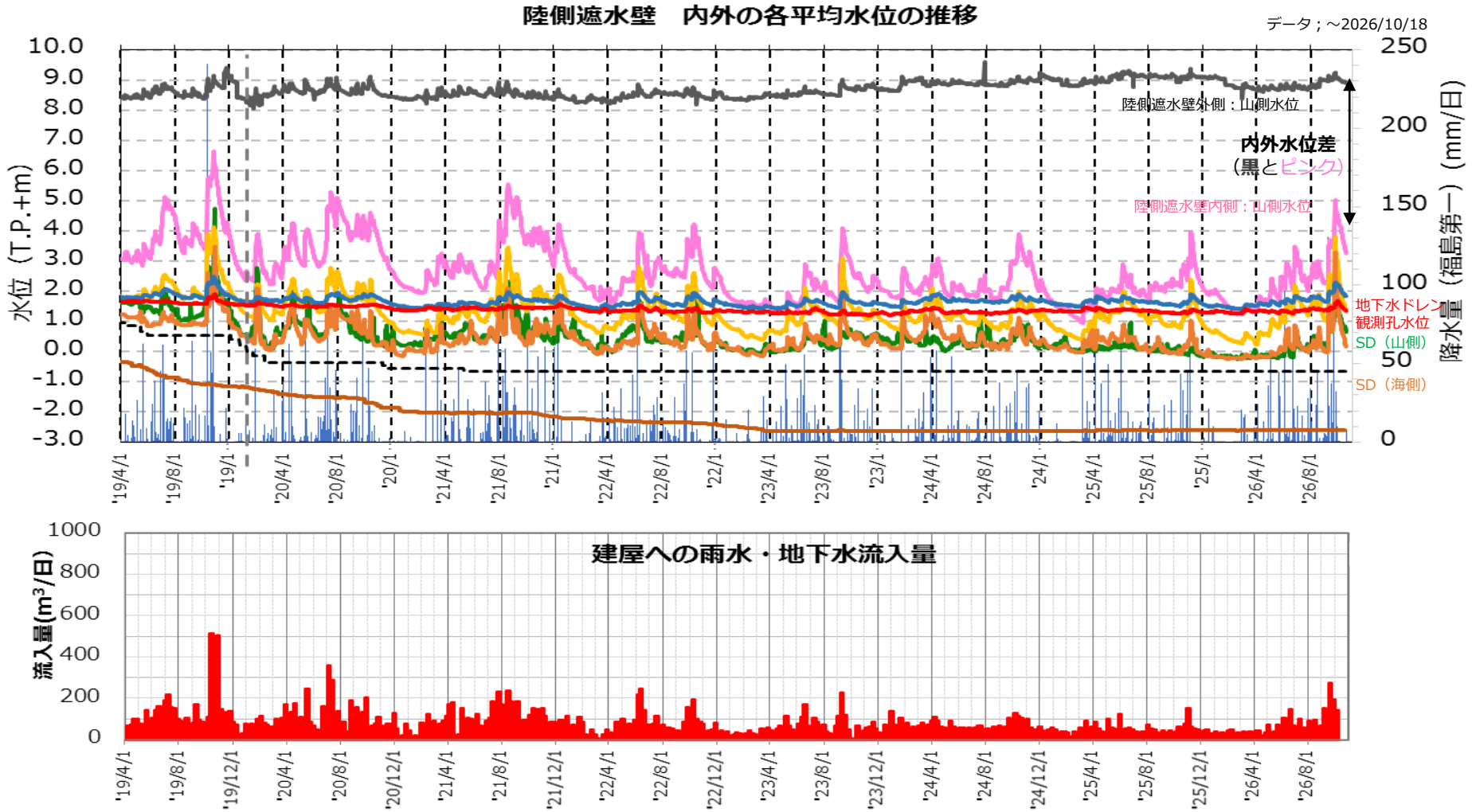
目　次

１．建屋周辺の地下水位、サブドレン等のくみ上げ量について	P2～3
２．汚染水発生量の推移	P4
参考	P5～19

1-1. 建屋周辺の地下水位の状況

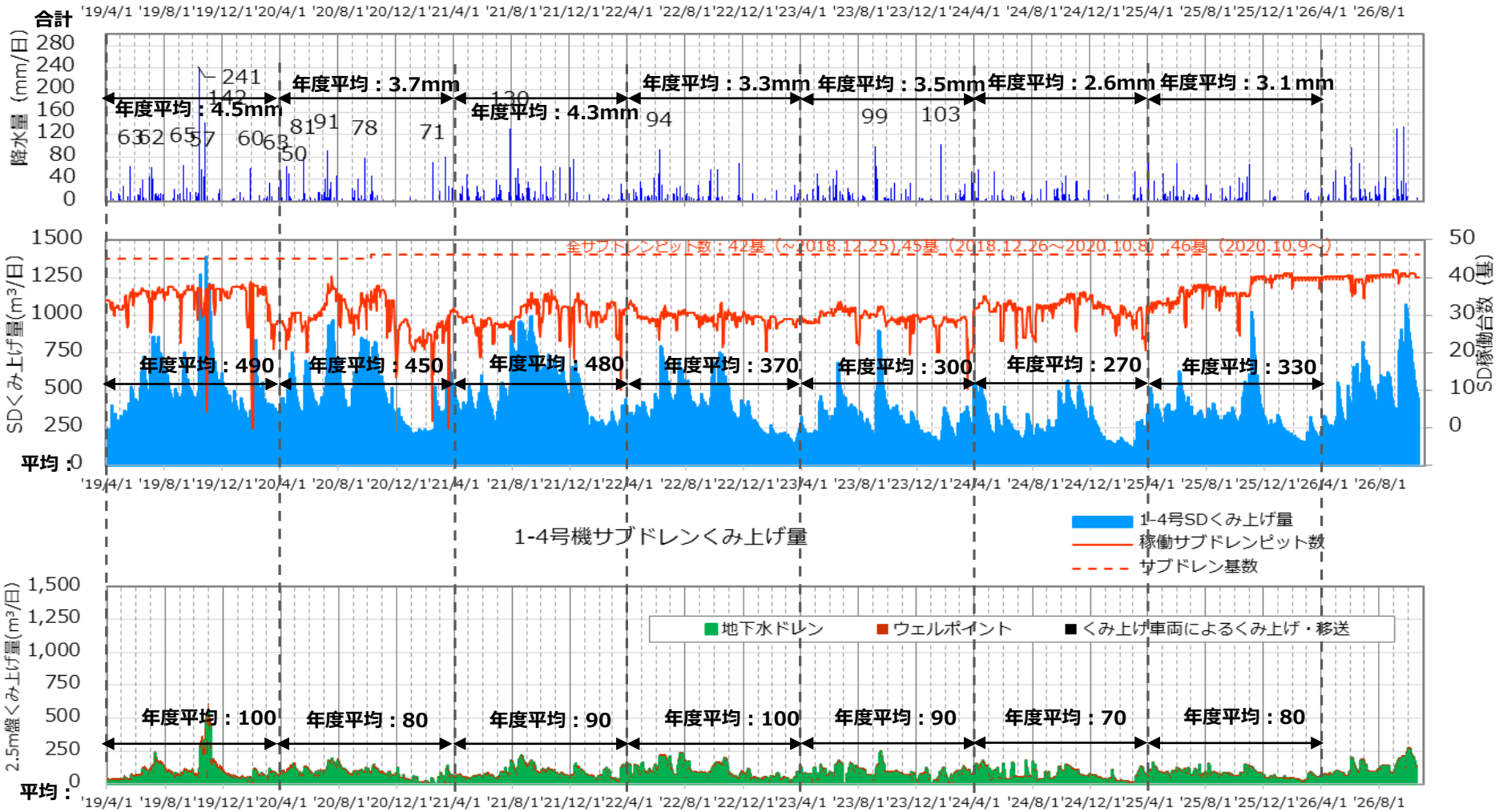
- 陸側遮水壁内側エリアの地下水位は山側では降雨による変動があるものの、内外水位差は確保した状態が維持されている
- 地下水ドレン観測井水位は約T.P.+1.4mであり、地表面から十分に下回っている（地表面高さ T.P.+2.5m）

1F降雨
地下水ドレン観測井水位
陸側遮水壁（山側）山側水位
注水井・観測井（山側）
サブドレン（山側）
注水井・観測井（海側）
サブドレン（海側）
陸側遮水壁（海側）海側水位
建屋水位（床面露出した建屋を除く）
サブドレン設定水位（ポンプ稼働下限値）



1-2. サブドレン・護岸エリアのくみ上げ量の推移

- 1－4号機サブドレンは、降水量に応じて、くみ上げ量が変動している状況である
- T.P.+2.5m盤くみ上げ量は、T.P.+2.5m盤エリアのフェーシングが完了しており、安定的なくみ上げ量で推移している状況である

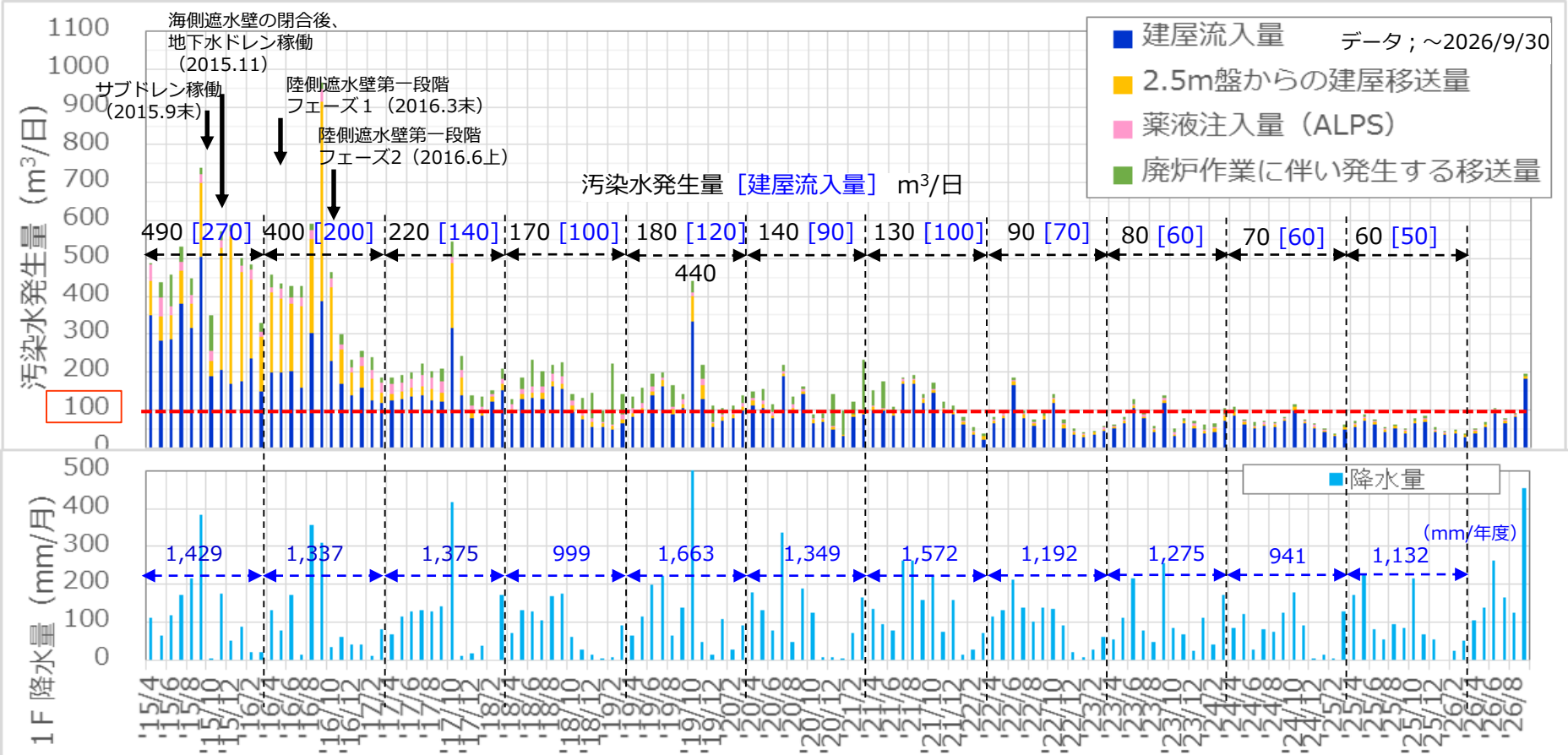


データ；2026/10/18

※年度平均値は、降水量を除き10m³単位で四捨五入

2．汚染水発生量の推移

- 2025年度は、汚染水発生量：約60m³/日、降雨量：1,132mmであり、平均的な降雨量（約1,470mm）と比較すると約350mm少ないが、平均的な降雨量相当だったとしても、汚染水発生量は約70m³/日程度と評価される。
- 2026年9月は降雨量が457mmであり、建屋流入量は約180m³/日、汚染水発生量は約200m³/日だった。



注）2017.1までの汚染水発生量（貯蔵量増加量）は、建屋滞留水増減量（集中ラド含む）と各タンク貯蔵増減量より算出しており、気温変動の影響が大きいため、2017.2以降は上表の凡例に示す発生量の内訳を積み上げて算出する方法に見直している。よって、2017.1までの発生量の内訳は参考値である。

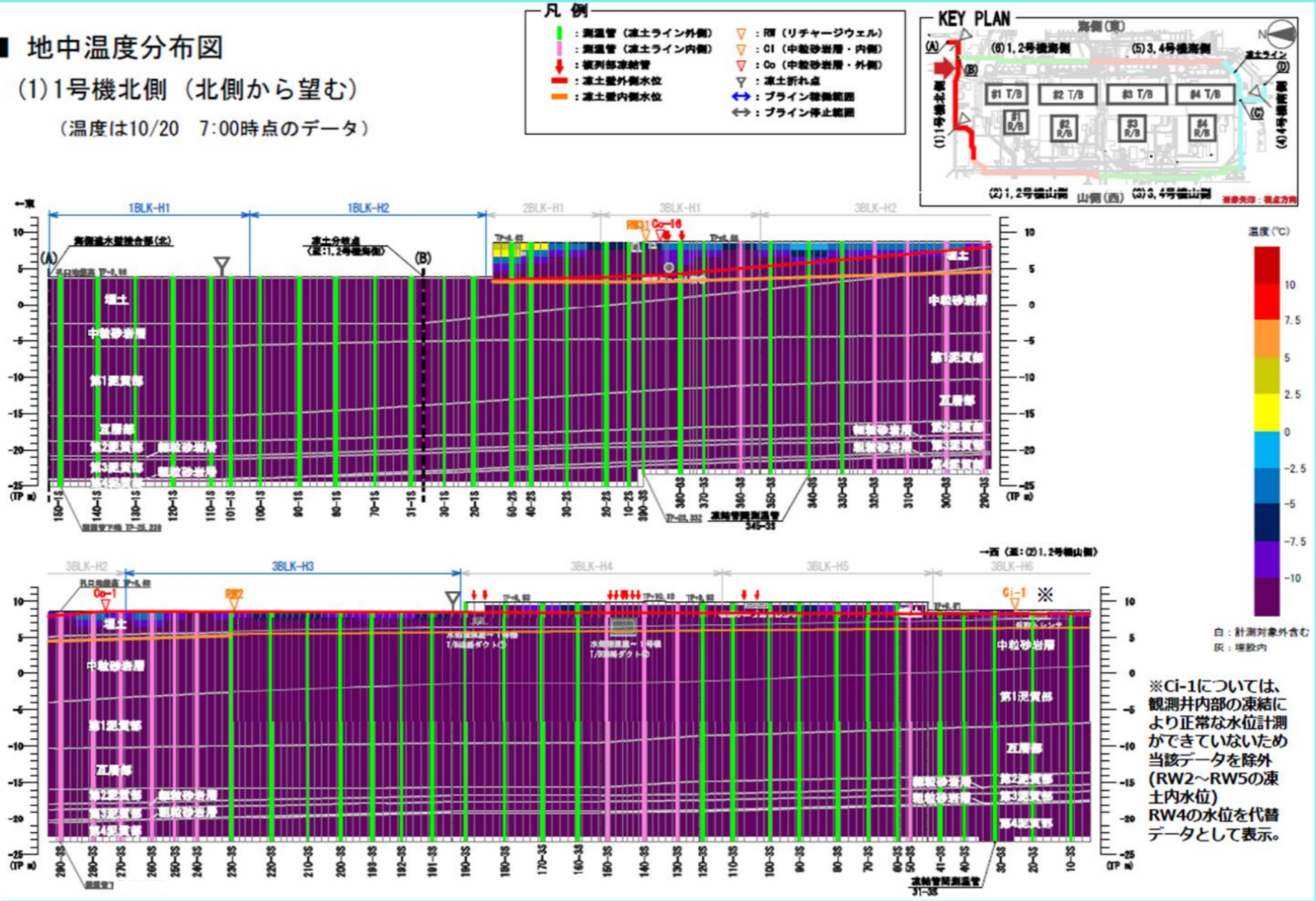
【参考１】地中温度分布

【参考１-1】地中温度分布図（１・２号機北側）

■ 地中温度分布図

(1)1号機北側（北側から望む）

（温度は10/20　7:00時点のデータ）



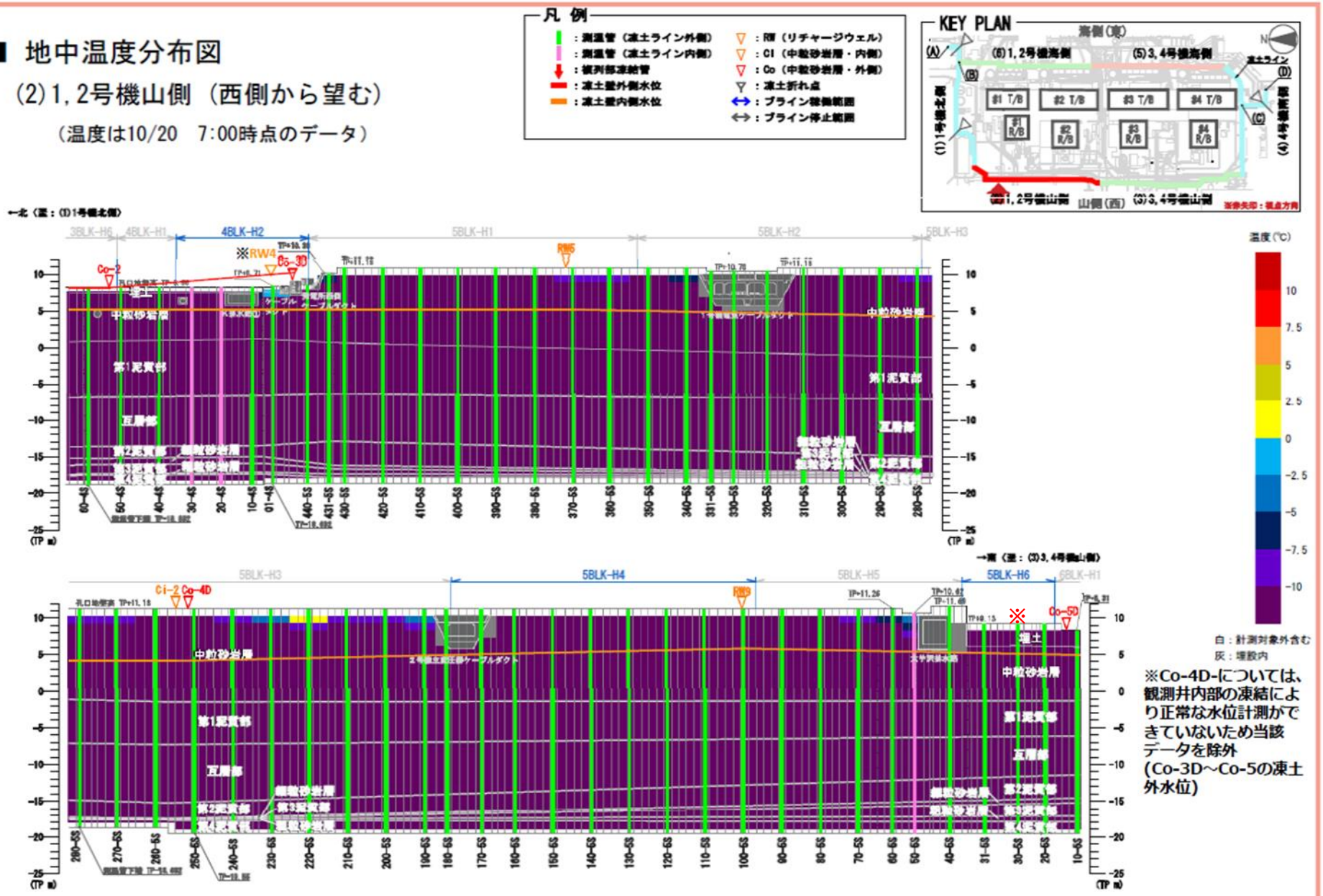
※Ci-1については、観測井内部の凍結により正常な水位計測ができていないため当該データを除外(RW2～RW5の凍土内水位)
RW4の水位を代替データとして表示。

【参考１-2】地中温度分布図（１・２号機西側）

■ 地中温度分布図

(2)1,2号機山側（西側から望む）

（温度は10/20　7:00時点のデータ）



※Co-4D-については、観測井内部の凍結により正常な水位計測ができていないため当該データを除外(Co-3D～Co-5の凍土外水位)

【参考1－3】地中温度分布図（3・4号機西側）

■ 地中温度分布図

(3) 3, 4号機山側（西側から望む）

（温度は10/20　7:00時点のデータ）

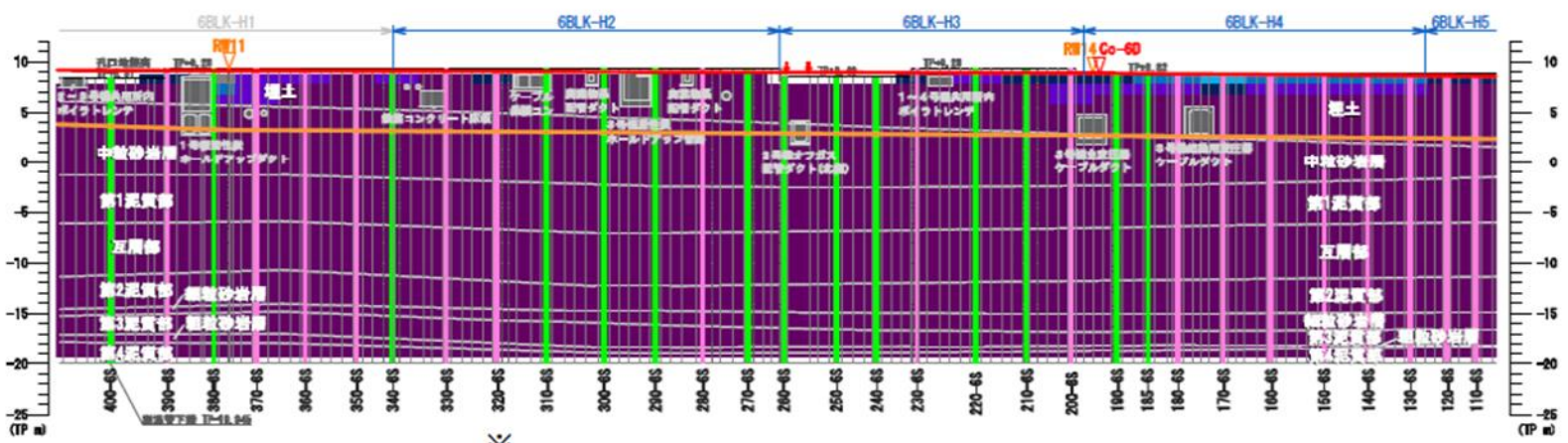
凡例
- ：測温管（凍土ライン外側）
- ：測温管（凍土ライン内側）
- ：複列部凍結管
- ：凍土壁外側水位
- ：凍土壁内側水位
- ：RW（リチャージウェル）
- ：CI（中粒砂岩層・内側）
- ：Co（中粒砂岩層・外側）
- ：凍土折れ点
- ：ブライン循環範囲
- ：ブライン停止範囲

KEY PLAN

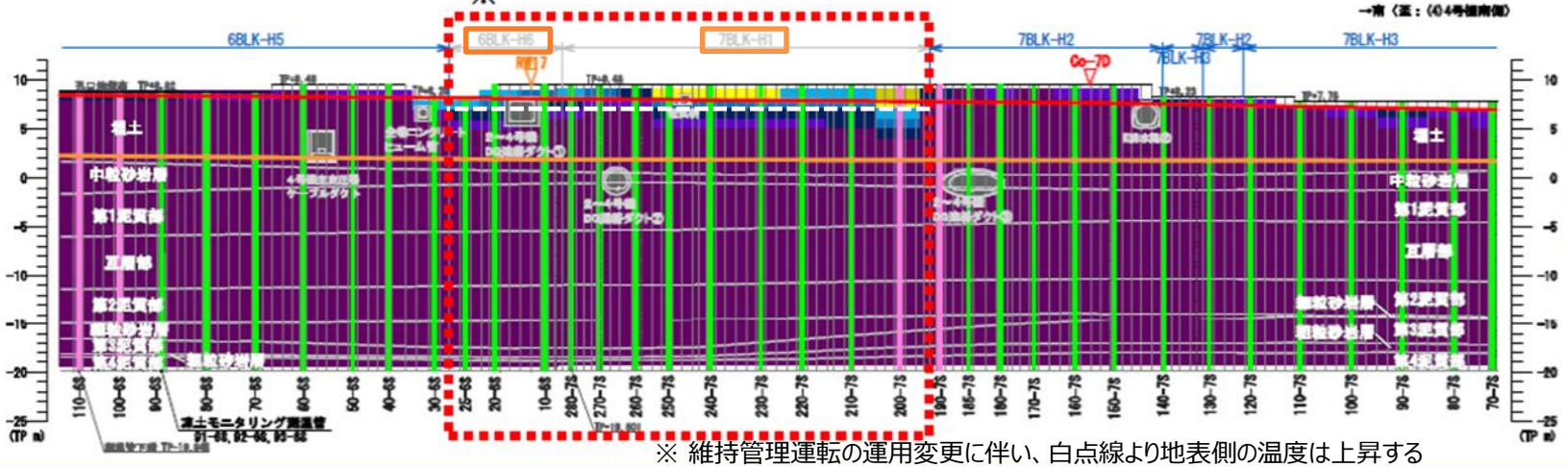


○BLK-H□　地中温度の管理深度等を変更を計画している範囲

←北（至：(2) 1, 2号機山側）



※



→南（至：(4) 4号機南側）

温度（℃）
10
7.5
5
2.5
0
-2.5
-5
-7.5
-10

白：計測対象外含む
灰：埋設内

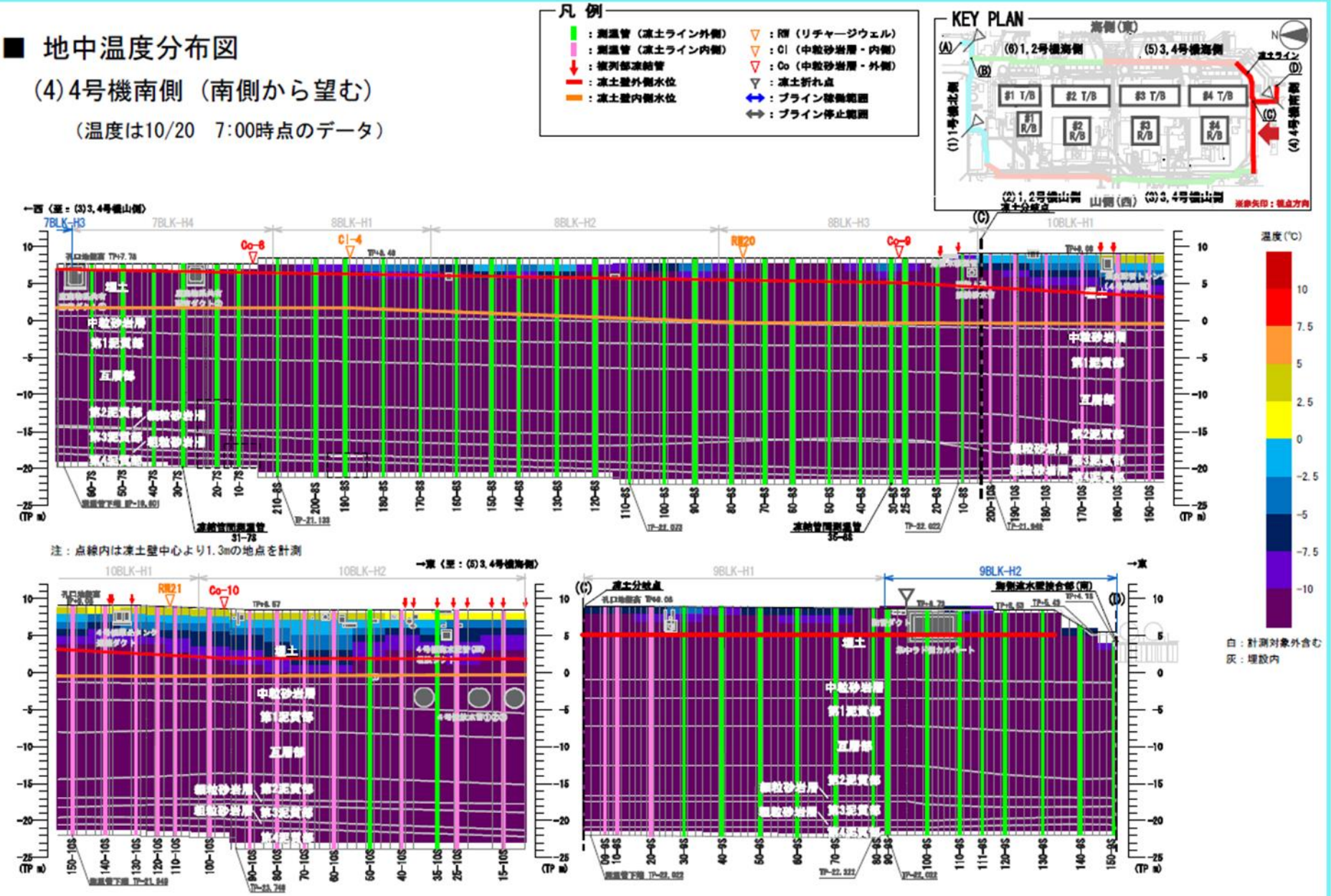
※ 維持管理運転の運用変更に伴い、白点線より地表側の温度は上昇する

【参考１-4】地中温度分布図（４号機南側）

■ 地中温度分布図

(4)4号機南側（南側から望む）

（温度は10/20　7:00時点のデータ）



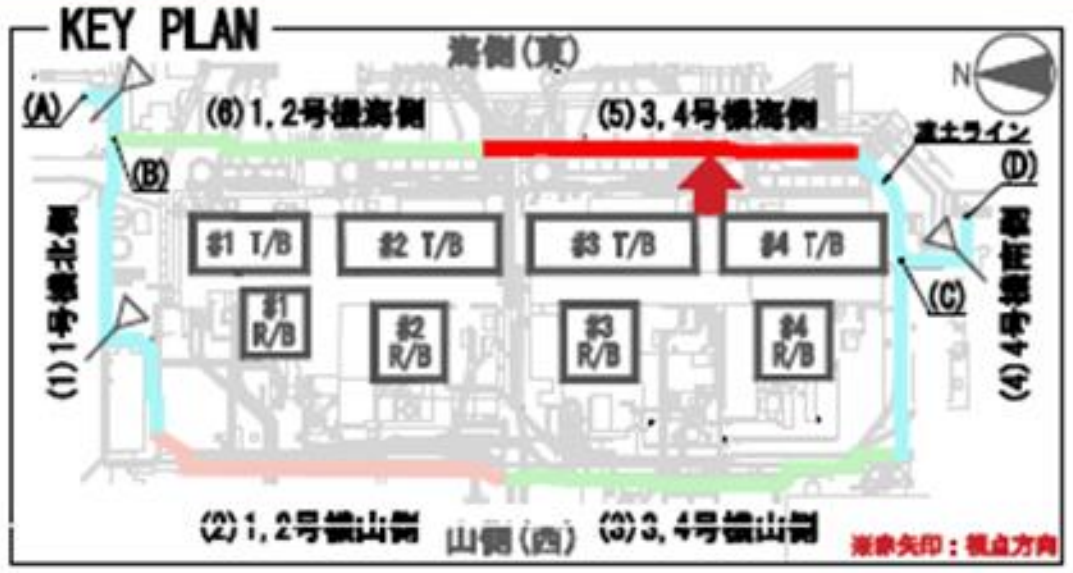
TEPCO

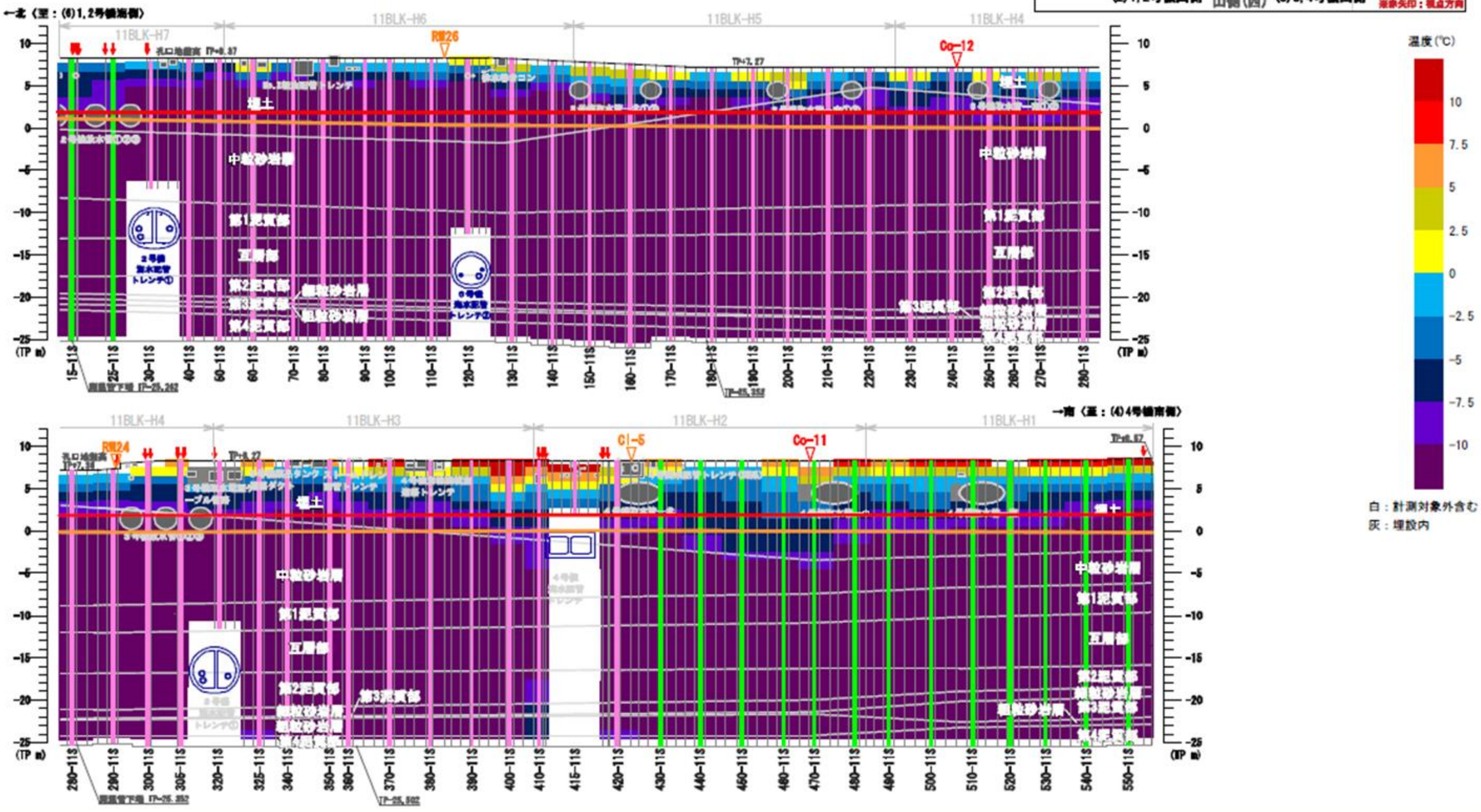
■ 地中温度分布図

(5)3,4号機海側（西側：内側から望む）

（温度は10/20　7:00時点のデータ）

凡 例
- ：測温管（凍土ライン外側）
- ：測温管（凍土ライン内側）
- ：複列部凍結管
- ：凍土壁外側水位
- ：凍土壁内側水位
- ：RW（リチャージウェル）
- ：Cl（中粒砂岩層・内側）
- ：Co（中粒砂岩層・外側）
- ：凍土折れ点
- ：ブライン稼働範囲
- ：ブライン停止範囲



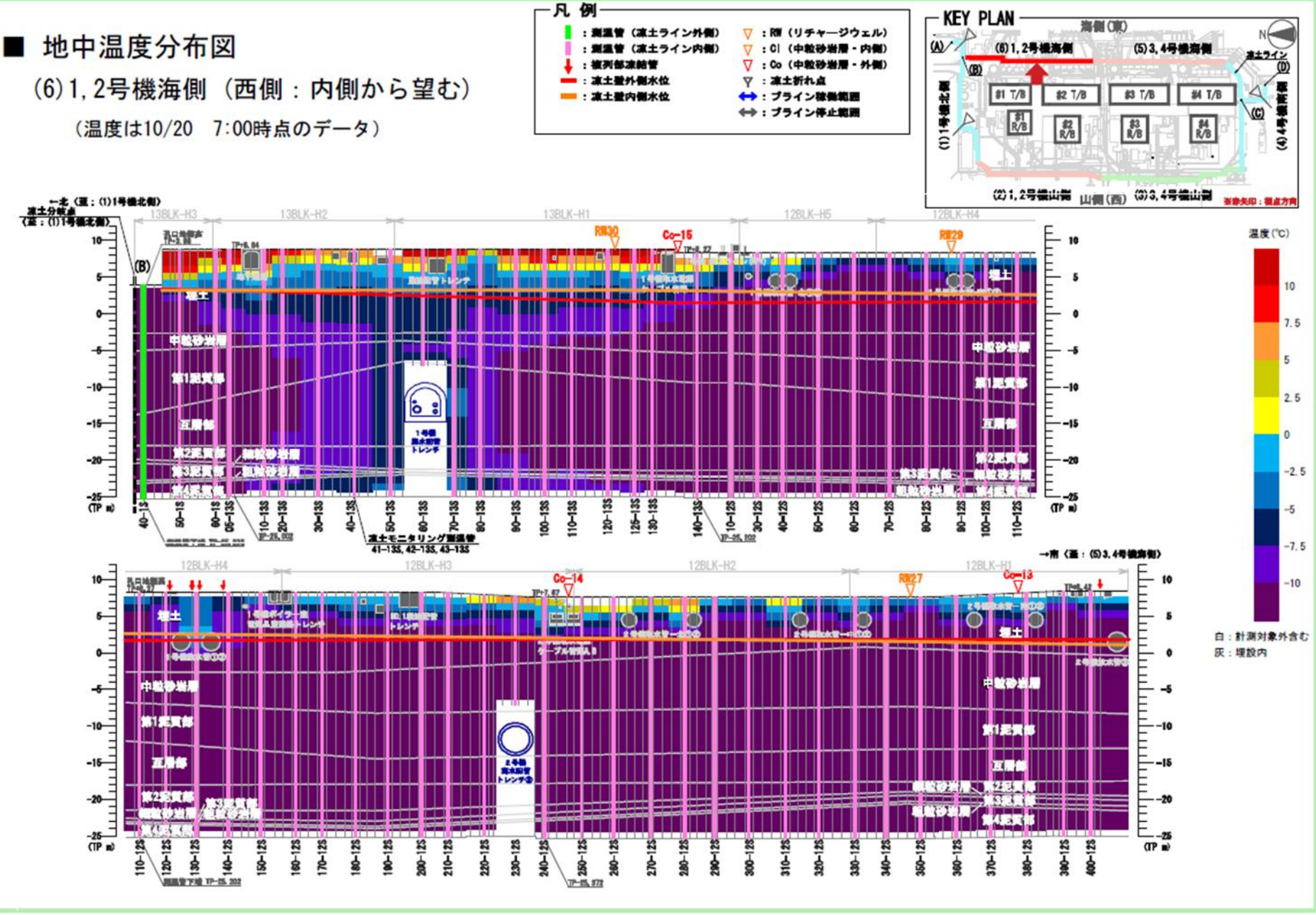


【参考１-6】地中温度分布図（１・２号機東側）

■ 地中温度分布図

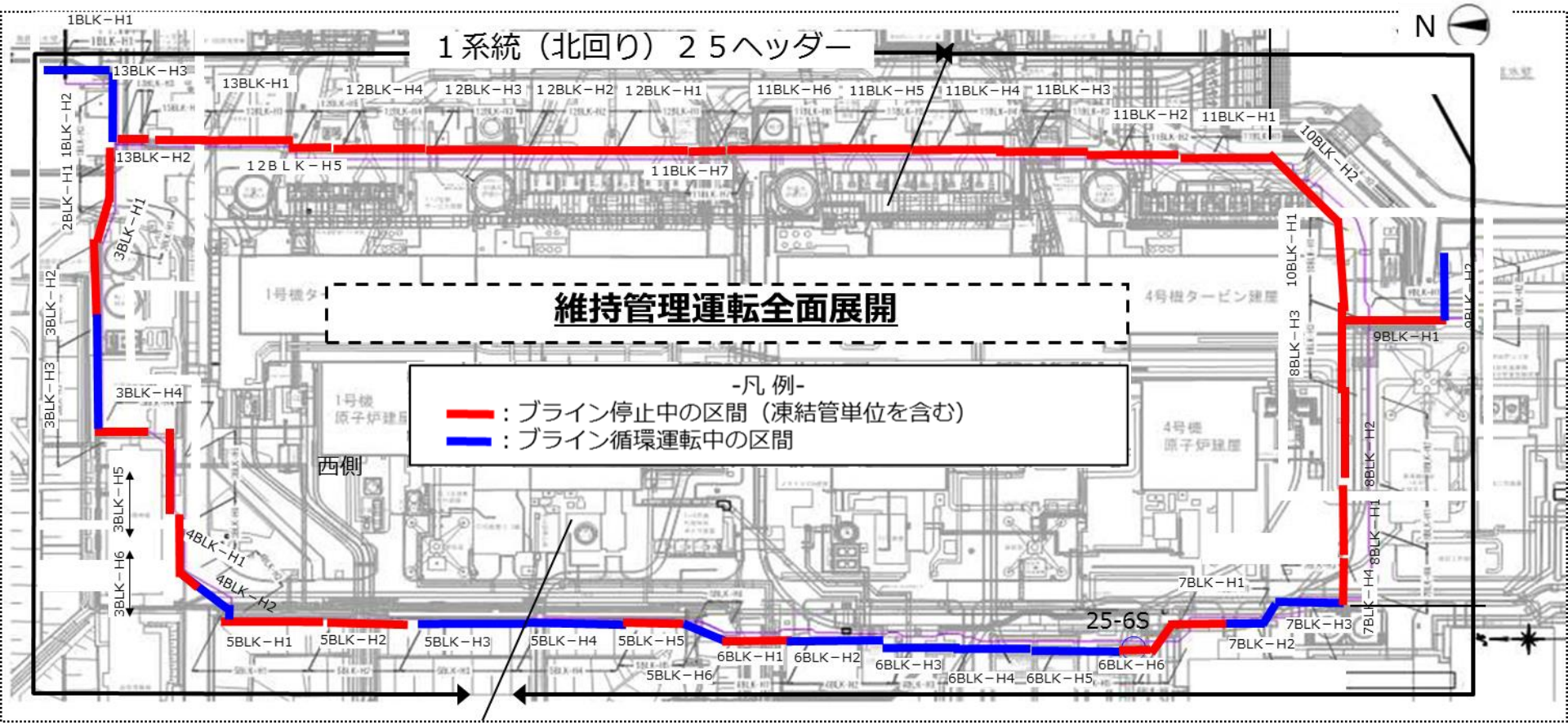
(6)1,2号機海側（西側：内側から望む）

（温度は10/20　7:00時点のデータ）



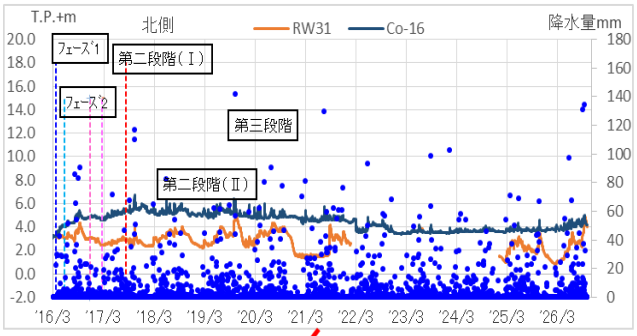
【参考１-7】維持管理運転の状況（10/20時点）

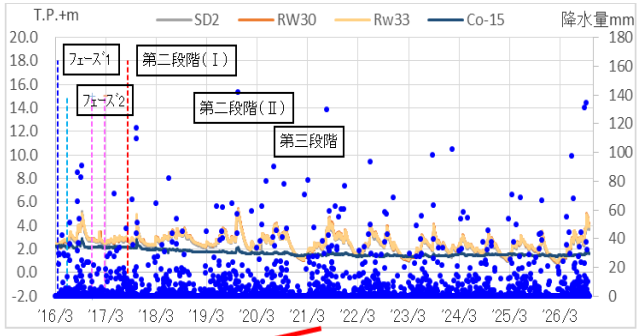
- 維持管理運転対象全49ヘッダー管（北回り１系統25ヘッダー、南回り２系統24ヘッダー）のうち20ヘッダー管（北側3，東側16，南側6，西側6 ）にてブライン停止中。

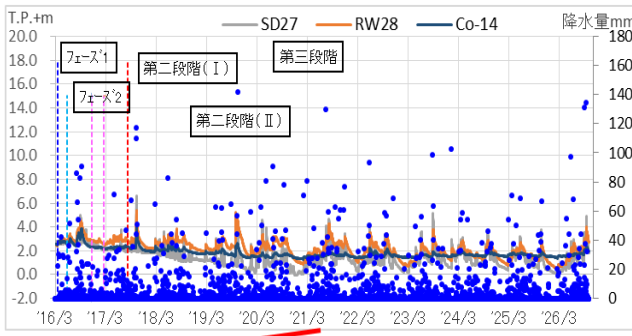


【参考２】地下水位・水頭の状況について

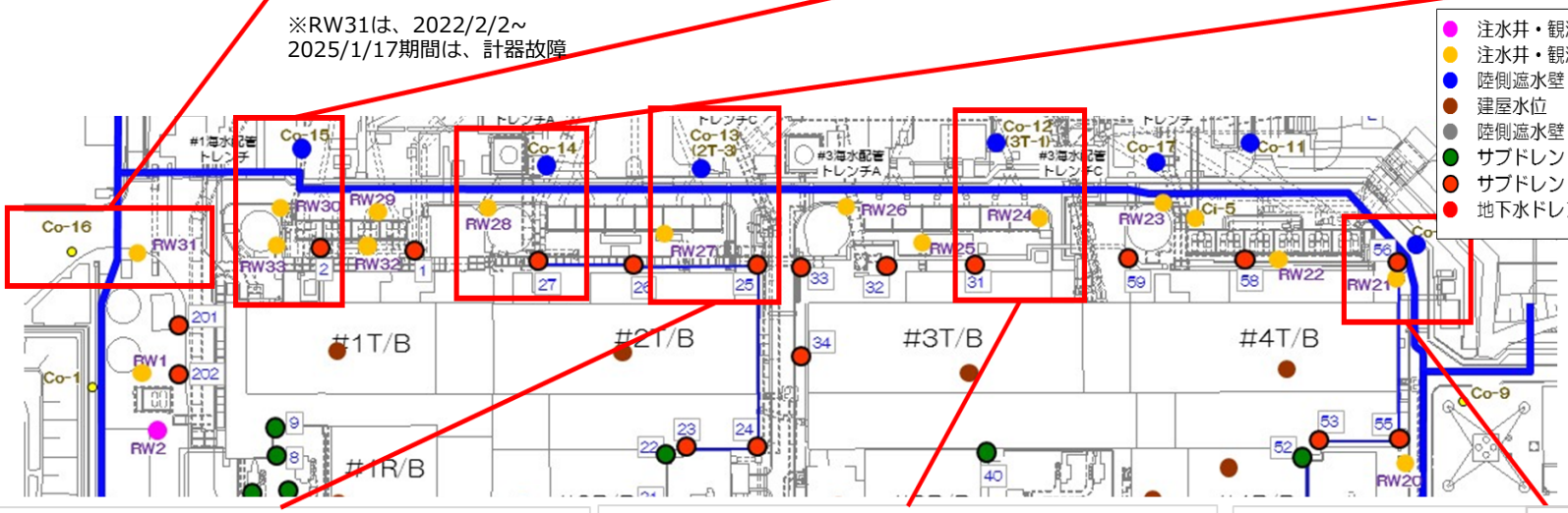
【参考2-1】地下水位・水頭状況（中粒砂岩層　海側）





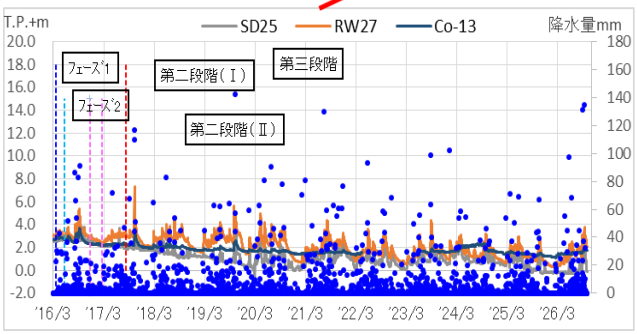


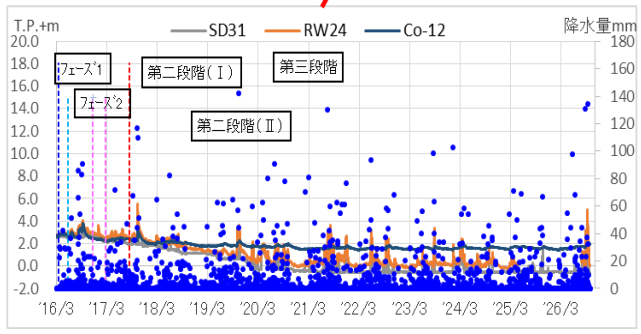
※RW31は、2022/2/2~
2025/1/17期間は、計器故障

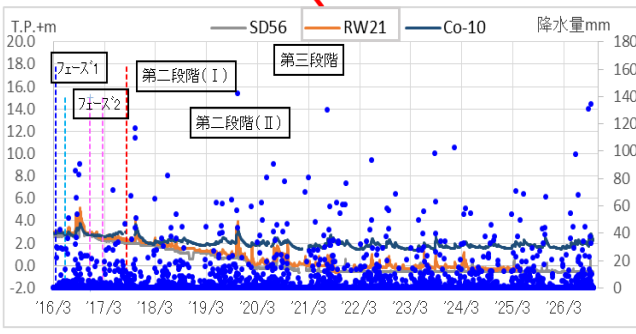


- 注水井・観測井（山側）
- 注水井・観測井（海側）
- 陸側遮水壁（海側）海側観測井
- 建屋水位
- 陸側遮水壁（山側）山側水位
- サブドレン（山側）
- サブドレン（海側）
- 地下水ドレン観測井

フェーズ1：H28.3/31～
フェーズ2：H28.6/6～
第二段階（Ⅰ）：H28.12/3～
第二段階（Ⅱ）：H29.3/3～
第三段階：H29.8/22～







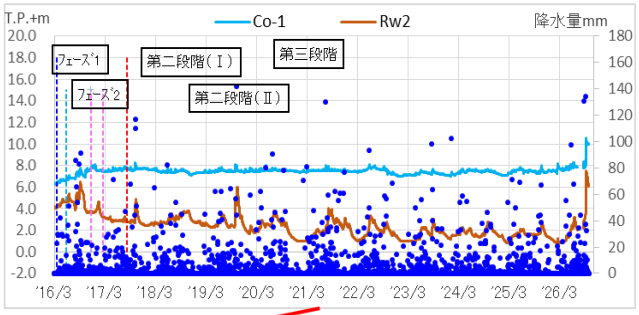
※Co-13は、2022/4/25~2023/6/26の期間は、計器故障

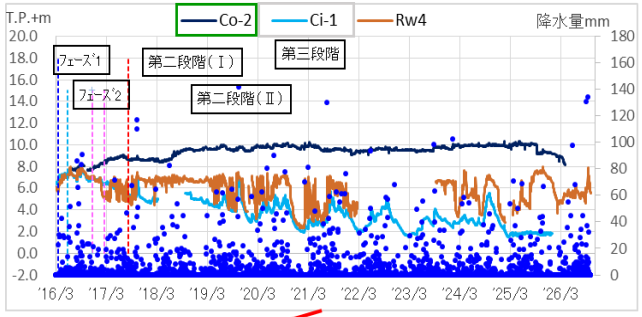
※RW24は、2025/5/14~ 計器故障

※RW21は、2025/5/14~ 計器故障

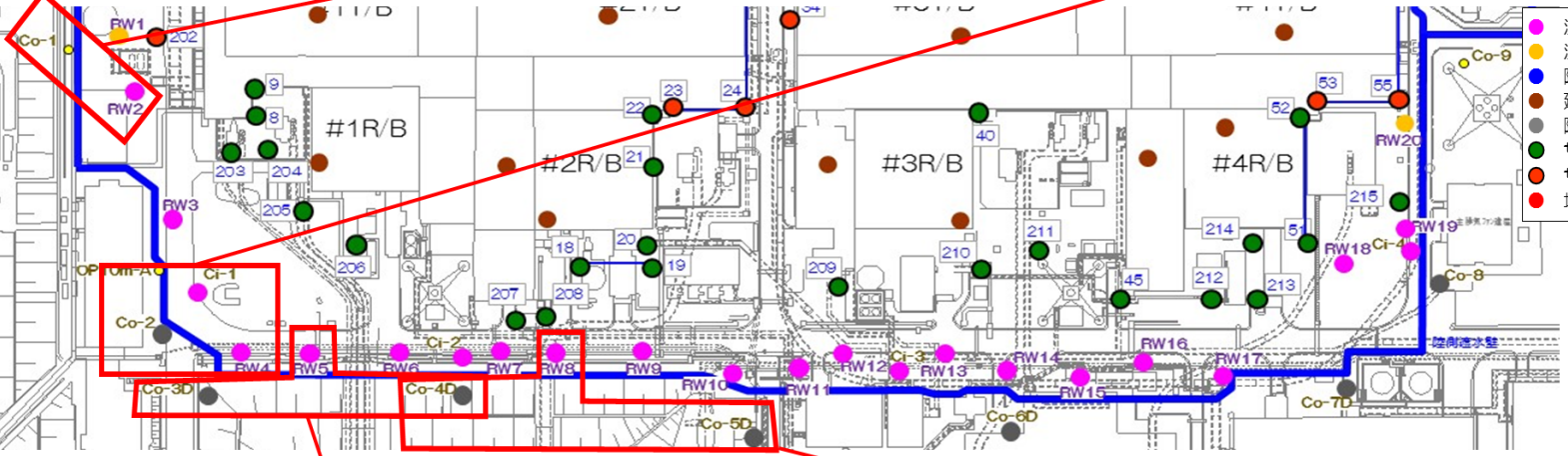
データ；~2026/10/13

【参考2-2】地下水位・水頭状況（中粒砂岩層　山側①）

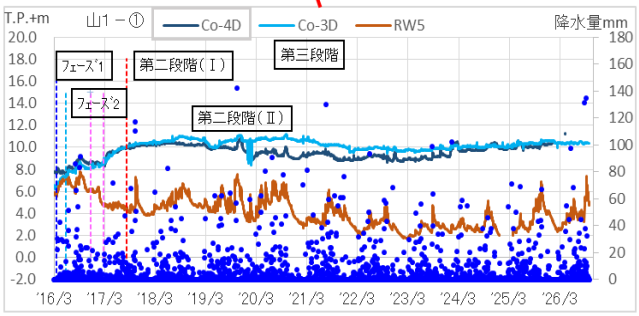




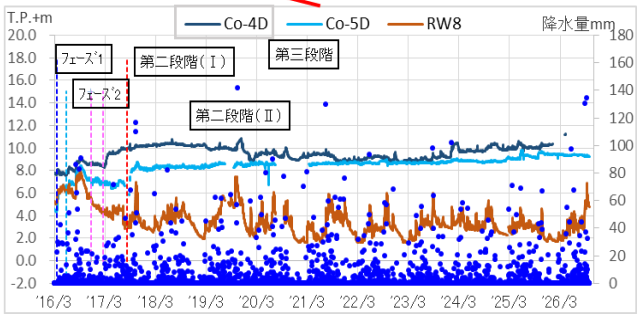
※RW4は、2023/3/29~2023/9/20の期間は計器故障
2025/2/3～　水位計設置位置変更により欠測



フェーズ1：H28.3/31～
フェーズ2：H28.6/6～
第二段階（Ⅰ）：H28.12/3～
第二段階（Ⅱ）：H29.3/3～
第三段階：H29.8/22～



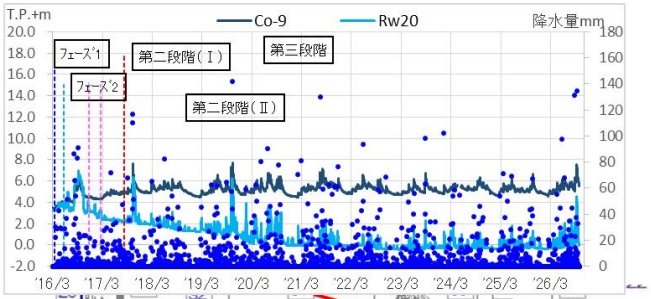
※RW5は、2025/1/4～　水位計設置位置変更により欠測
Co-4Dは、2026/4/18～　計器故障



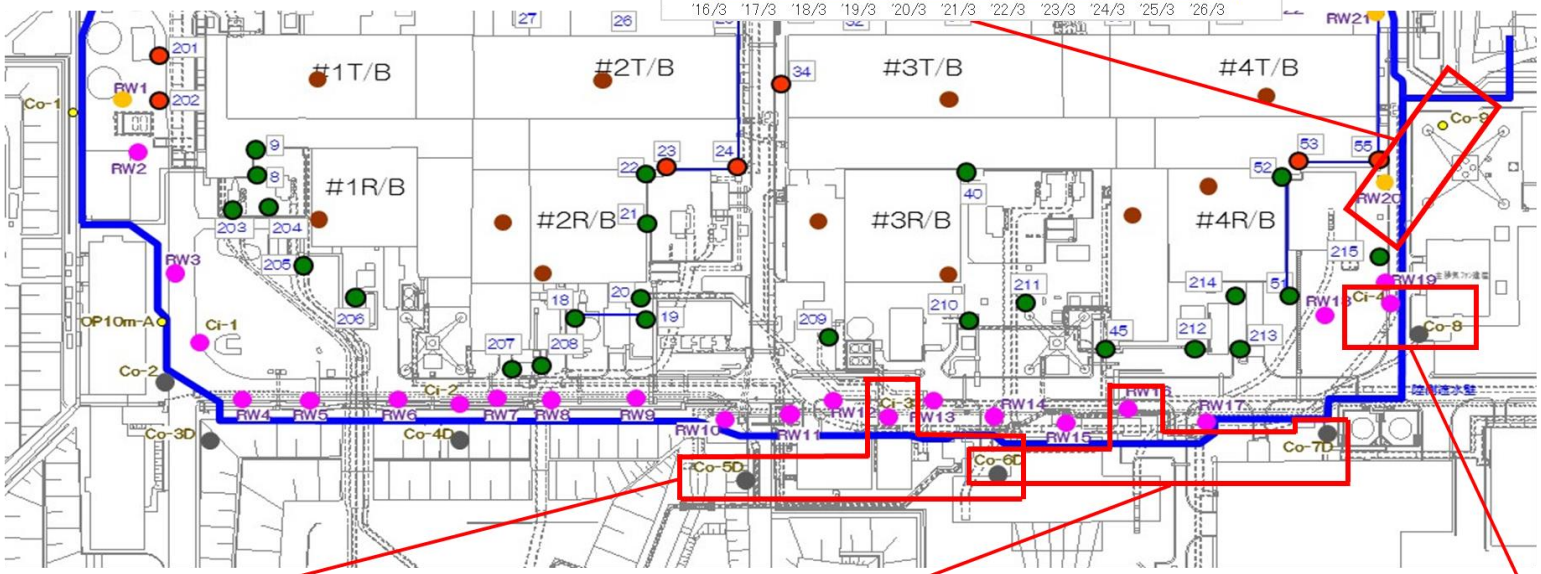
※ Co-4Dは、2026/4/18～　計器故障

データ；～2026/10/13

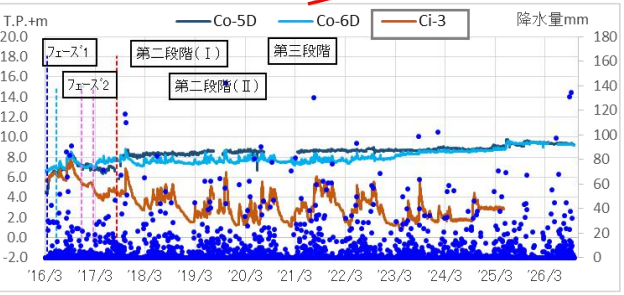
【参考2-3】地下水位・水頭状況（中粒砂岩層　山側②）

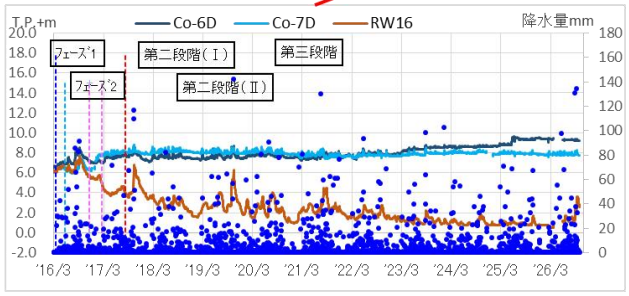


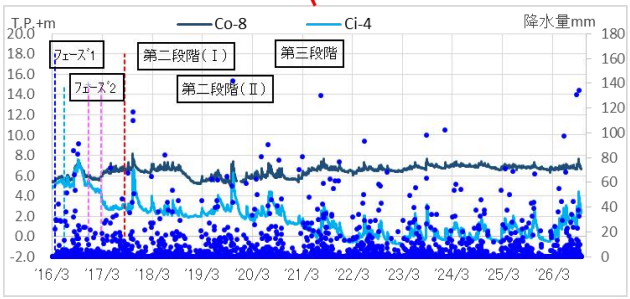
- 注水井・観測井（山側）
- 注水井・観測井（海側）
- 陸側遮水壁（海側）海側観測井
- 建屋水位
- 陸側遮水壁（山側）山側水位
- サブドレン（山側）
- サブドレン（海側）
- 地下水ドレン観測井



フェーズ1：H28.3/31～
フェーズ2：H28.6/6～
第二段階（Ⅰ）：H28.12/3～
第二段階（Ⅱ）：H29.3/3～
第三段階：H29.8/22～



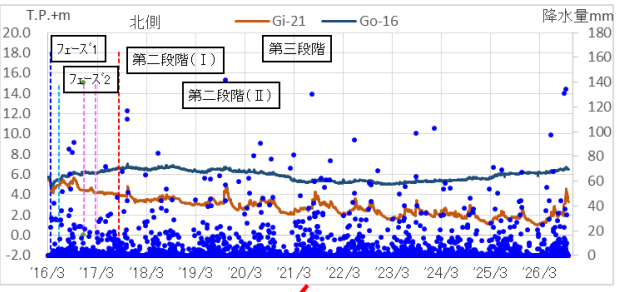


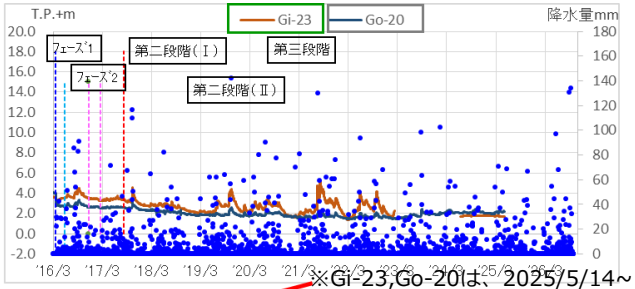


※ Ci-3は、2026/4/18～　孔内凍結により欠測

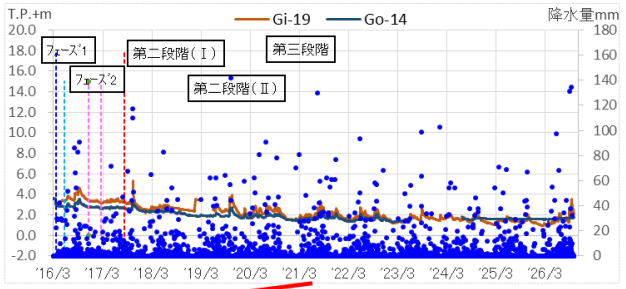
データ；～2026/10/13

【参考2-4】地下水位・水頭状況（互層、細粒・粗粒砂岩層水頭　海側）

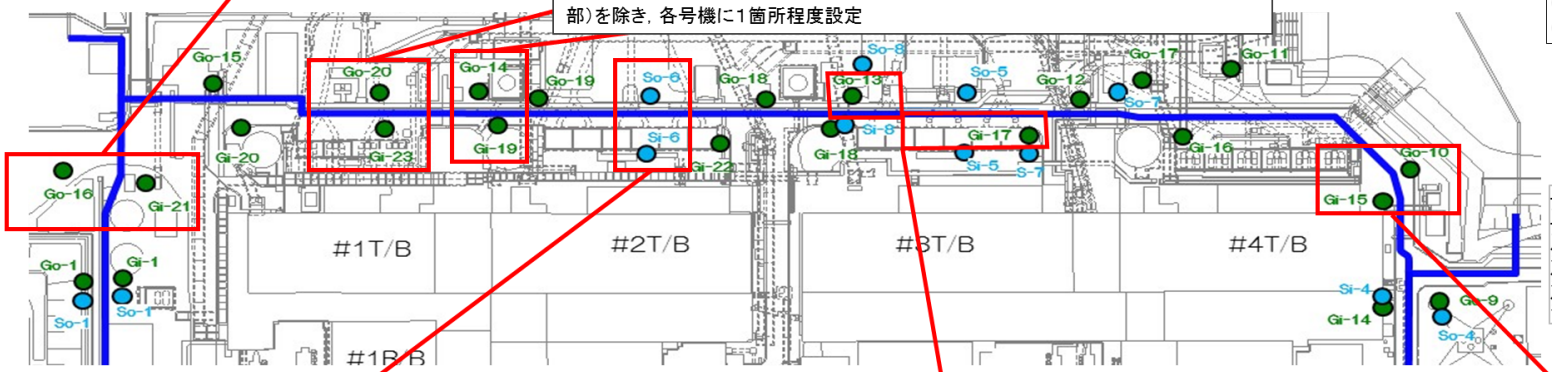




※Gi-23,Go-20は、2025/5/14～
孔内凍結を確認したため、欠測

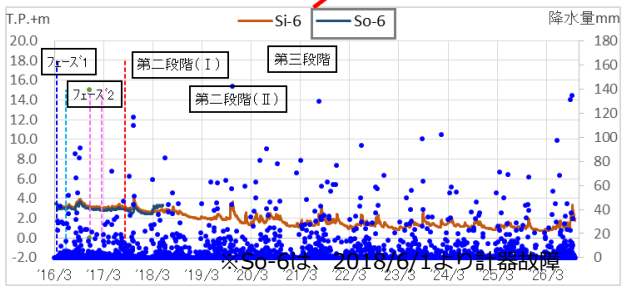


海側互層，細粒・粗粒砂岩のグルーピングは，非凍結箇所（各号機海水配管トレンチ下部）を除き，各号機に1箇所程度設定

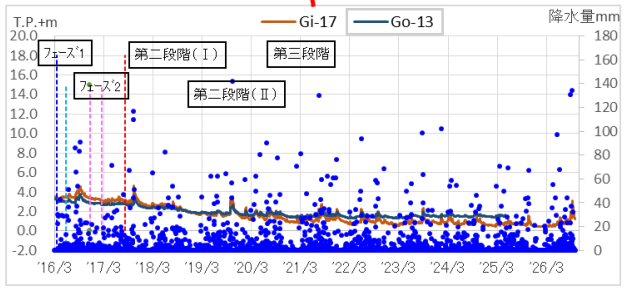


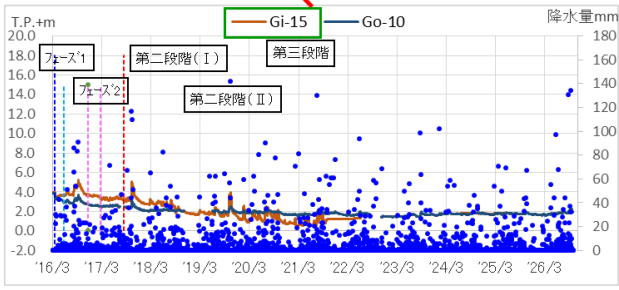
● 互層観測井
● 粗粒・細粒砂岩　観測井

フェーズ1：H28.3/31～
フェーズ2：H28.6/6～
第二段階（Ⅰ）：H28.12/3～
第二段階（Ⅱ）：H29.3/3～
第三段階：H29.8/22～



※So-6は、2018/6/1より計器故障



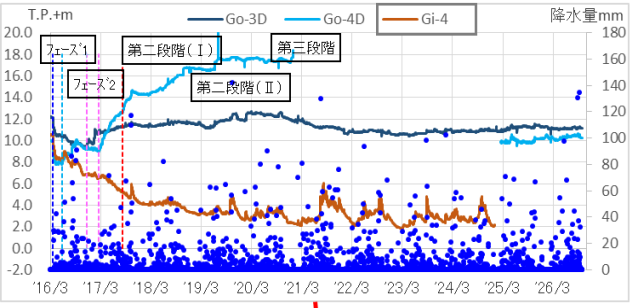


※Gi-15は、2022/7/4~2024/6/25期間は、計器故障
2025/5/14～　孔内凍結を確認したため、欠測

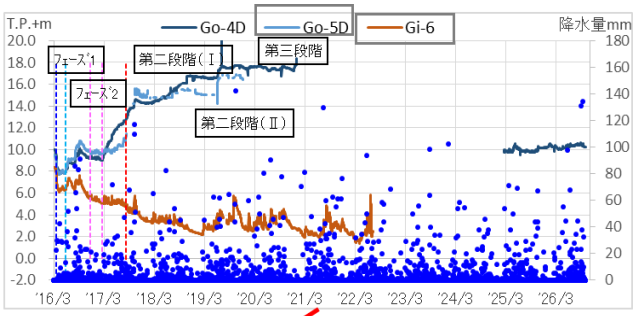
データ；～2026/10/13

【参考2-5】地下水位・水頭状況（互層、細粒・粗粒砂岩層水頭　山側）

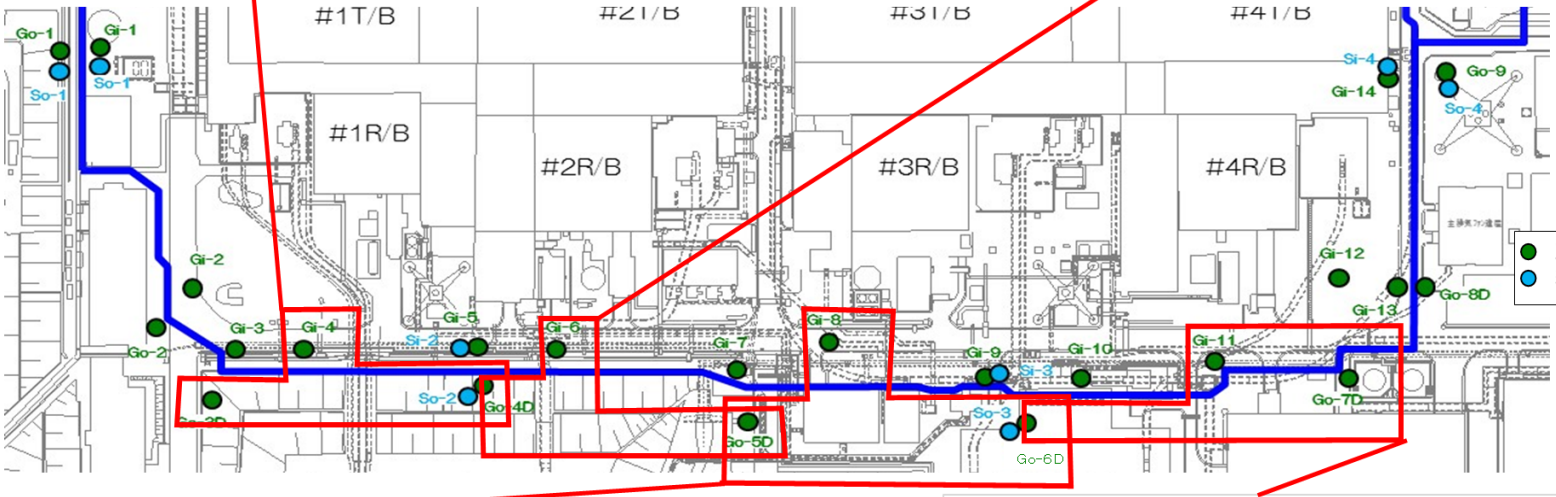
※Go-4Dは、2021/1/11~2025/2/27計器故障



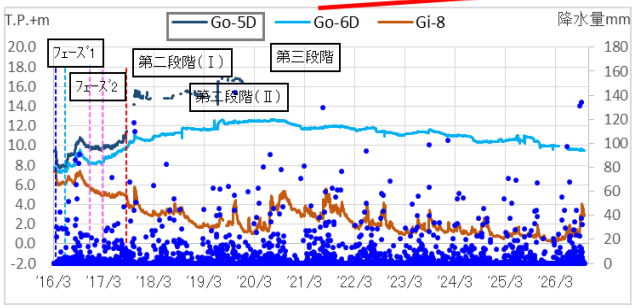
※Go-4Dは、2021/1/11~2025/2/27計器故障



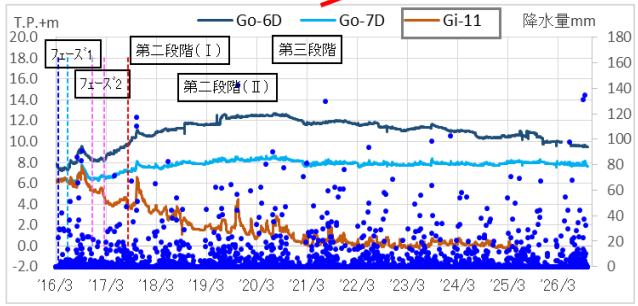
※Gi-6は、2022/7/25より計器故障



フェーズ1：H28.3/31～
フェーズ2：H28.6/6～
第二段階(Ⅰ)：H28.12/3～
第二段階(Ⅱ)：H29.3/3～
第三段階：H29.8/22～



※Go-5Dは、2019/12/16より計器故障



※Gi-11は、2025/5/14～　孔内凍結を確認したため欠測

データ；～2026/10/13

【参考2-6】サブドレン・注水井・地下水位観測井位置図

